

事務局ニュース06-NO.09 2007.4.5 埼玉県学童保育連絡協議会

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-1005

048-644-1571 FAX 048-644-1572

http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/ Eメール gakudoust@yahoo.co.jp

【郵便振替】00160-7-93727 埼玉県学童保育連絡協議会

報告事項

1. 2007年度学童保育予算発表！15億6,372万円

予算総額 15億6,372万円（前年度比9.4%増）、実質30箇所増を確保
補助基準額は、国の単価増に伴い280日、20～35人のクラブで31.9万円の増額
しかし、300日まで開設加算は取り入れず
「放課後児童クラブ運営基準活用促進事業」が廃止される
障害児学童保育 補助対象クラブが2カ所増、補助基準額は変わらず

3月19日、さいたま市内において県子育て支援課主催の「市町村児童福祉主管課長会議」が開催され、平成19（2007）年度の予算等が発表されました。その主な点は以下のようです。（別添「平成19年度埼玉県放課後児童健全育成事業について」参照）

「養護学校放課後児童対策事業」（障害児学童保育）も含めた「放課後児童健全育成事業費」の総額は、1,567,372千円、05年度の1,433,010千円との比較134,362千円、9.4%増です。

補助対象箇所数を今年度から県の補助対象から外れた中核市・川越市を除いて30カ所増やしたこと。

国の補助単価の改定に伴い、県としての補助基準額が、280日以上開所する場合、70人までの学童保育においては158千円～319千円増としたこと。（別添裏、「放課後児童健全育成事業 平成19年度と平成18年度の補助基準額の比較」県連協事務局作成資料参照）

しかし、これは現時点での「案」であり、4月中旬に国から出される「国庫補助金交付要綱」を受けて若干の改訂の可能性があります。

「養護学校放課後児童対策事業」については、補助対象クラブが2カ所増を盛り込んでいます。

また、平成16（2004）年度から実施してきた「放課後児童クラブ運営基準活用促進事業」が、本体の「わがまち子育て総合支援市町村自主事業」が廃止されたことに伴い廃止されました。

この会議ではこのほか、厚生労働省の方針を受けて71人以上のクラブについて、分割を促進することを願う。運営基準点検結果をふまえた改善のお願い（以上は別添「課長会議」資料5頁）指定管理者制度の放課後児童健全育成事業への導入は住民の理解を得た上で行うこと（口頭説明）等が伝えられました。

* 同会議に提出された「市町村児童福祉主管課長会議」資料を1部添付しました。

2. 「放課後子ども教室」は新規に7,586万円

県教育局は、新規に「放課後子ども教室推進事業」予算を計上しました。（別添裏）

「放課後子どもプラン」と関わる県教育局主催の会議を2月14日に開催し、市町村に説明をしています。

県予算についての県連協としての評価

1. 県予算全体が、一般会計1.6%増、民生費3.7%増という厳しい財政状況の中で、通常学童保育の予算総額について、9.4%増（中核市の川越市が補助対象から外れたため実質的にはそれ以上）を確保したことは、子育て支援課が現場の意をくんで奮闘した結果として評価したい。県財政が厳しいとされ、予算編成方針が「補助金の廃止を含めた見直しを徹底する」「国庫補助事業に県単独で任意の上乗せを行っているものについては原則廃止とする」とされている中で、県の一般財源も増やす努力をした跡が見られる。

2. 新年度県予算に対しての私たちの要望の中心は、国の補助基準額を県単価に連動させて大規模学童保育の分離増設への対応 障害児学童保育への国の単価改定の連動等であった。

国の単価改定については、280日開設までは導入したが、300日開設まで認めていた国の単価改定については、埼玉県は導入しなかった。できなかった。次年度以降の大きな課題である。

大規模学童保育の分離増設は、子育て支援課としては分離増設促進の立場である。厚生労働省も「3年後には、71人以上については補助金カット」という予算誘導を使って分離独立を促している。しかし、県財政当局が1小学校区複数設置を認めるかという問題もある。

障害児学童保育の単価改定については、「通常学童保育と両方の改訂は困難」との理由から困難とのことだった。「平成20年度の課題」（県子育て支援課）である。

3. 「埼玉県放課後児童クラブ運営基準」

県は、運営基準の点検表の結果にもとづいて「必要な部分については改善を図りたい」と改善を促している。「運営基準の活用」は「次世代育成支援対策行動計画（県子育て応援コバトンプラン）」に位置づけられていることもあり、最低、同計画前期（17～21年度）の間は続く。

しかし、「促進事業」が、「県も運営基準を活用するための財源を予算化しているのだから市町村も付いてきてほしい」という役割を果たしてきたことから考えると、「運営基準の活用」が失速する可能性は考えられる。県・市町村に対するはたらきかけが必要となる。

県連協からお知らせ・お願い (^0^)

3 , 平成18年度「放課後児童クラブ運営基準」点検表公開

1月末に県子育て支援課のHPに公開されました

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A03/BF00/kosodate/kijun/tenken/tenken.html>

4 , その他 県の動き

(1) 埼玉県が「県子育て応援共同宣言」を発表しました 2006年10月17日

埼玉県知事と県内の企業4団体が共同で発表。

「1 仕事と育児が両立できる環境の整備」に「保育所や放課後児童クラブの整備・充実を進め、子どもを安心して預け、働くことができる社会環境づくりを進める」と明記しています。

(2) 「平成18年度児童健全育成関係者専門研修会」が開催されました

3月8日(木) 於熊谷市内 / 3月15日(木) 於さいたま市内

【テーマ】「発達障害のある児童の理解について」

【講師】県発達障害者支援センター「まほろば」センター長 藤平俊幸氏

(3) 平成18年度第2回「県次世代育成支援推進協議会」が開催されました

3月16日(金) 14:00~16:00 於あけぼのビル

【議題】平成18年度次世代育成支援事業の主な取組について 平成19年度当初予算における主要な施策について 少子化対策局の設置について 各委員からの報告について

県連協の森川委員から「放課後子どもプラン」について報告しました。

5 , 県連協の行事・とりくみ

(1) 第4回代表委員会を開催しました

2月23日(金) 於さいたま市桜木公民館 8市町から参加

【議題】放課後子どもプランについての最近の動きの報告

『日本の学童ほいく』誌の定着普及についての意見交換

(2) 第6回障害児集中講座が開催されました

1日目 12月17日(日) 於さいたま市内 / 2日目 2月18日(日) 於上尾市内

参加者は、両日で38市町(+他県)、267人。

(3) 第28回実践交流会が開催されました

3月4日(日) 於嵐山・国立女性教育会館

参加者は、39市町(+他県)、444人。

(4) 第7回新人指導員研修会が開催されました

3月18日(日) 於埼玉教育会館

参加者は、35市町、139人。

1 , 全国児童健全育成事務担当者会議が開かれました ,

(『全国運営委員会ニュース2007年3月22日付』を1部添付しました)

自治体からの質問に対する「放課後子どもプラン疑義回答」(Q&A)が出される

・「専用スペースとは、子どもが安心して静養又は休息できるよう、生活の場として区切られたスペース。間仕切り等によりスペースを確保する場合には、生活の場としての機能が十分確保されるよう。そのため、例えばアコーディオンカーテンや衝立により仕切れることは相応しくない」

・「クラブの分割とは、別の場所にもう一つのクラブ室を設置 現在使用しているクラブ室に間仕切り等を設置するなどにより二つの部屋又はスペースを確保し、それぞれに指導員の配置するなど放課後児童クラブとしての要件を満たして実施すること」と明記されています

「平成19年中に、放課後児童クラブのガイドラインを示していきたい」と説明

2 , 新入所児童の世帯に『日本の学童ほいく』誌を勧めて下さい!

* 4月号の見本誌が県連協事務局にあります。ご希望の際は、ご連絡下さい。

* また、『ほいく』誌のモニター登録をすべての学童保育にお願いしてください。特に、新入所児童の保護者にもお願いしてみてください。

3 , 第5回県連協代表委員会のお知らせ

日時 4月21日(土)18:00開場 18:30開会

場所 さいたま市桜木公民館・調理実習室

(シーノ大宮センタープラザ6F)

内容

県子育て支援課の「県政出前講座」(予定)

「コバトンプランと平成19年度子育て支援関係予算、放課後児童クラブ予算」

議題 07年度県予算等についての評価と私たちの課題 総会議案書の提案と討議 他

4 , 第35回県連協総会に向けて

5月26日(土)17:30開場、18:00開会 於埼玉教育会館

(案内チラシを各学童保育1部添付しました)

すべての学童保育からご出席をお願いします。

市町村長に案内(依頼文を添付、封筒に入っています)を届けて祝電をお願いします。

地域連協のあるところは、運営委員の選出について討議して下さい

5 , 研究集会に多数ご参加を

5月27日(日)9:30受付 於埼玉県立大学

(2枚1組のチラシを全世帯数添付しました)